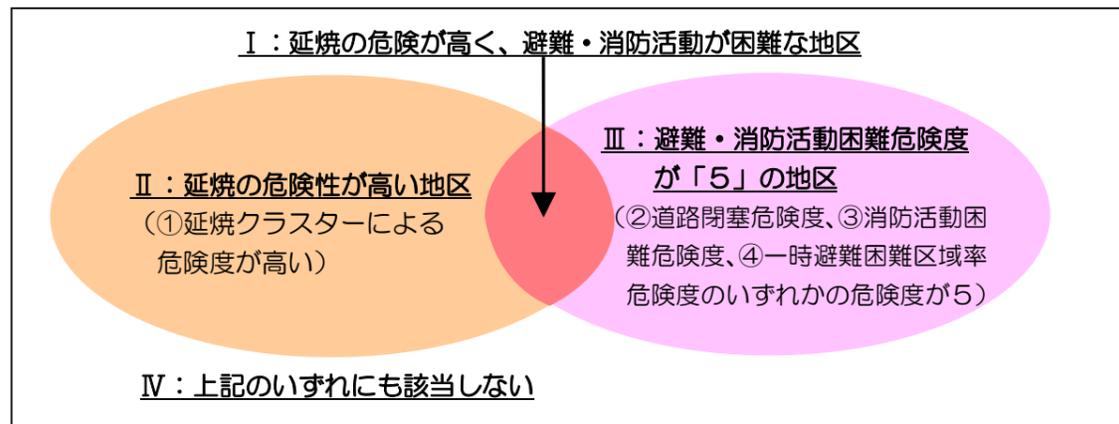


## ■ 総合災害危険度の判定方法

岡崎市の市街地の持つ、地震による災害リスクは、「延焼」と「避難・消防活動の困難さ」が主なものと考えられます。この「延焼の危険性」と「避難・消防活動の困難性」による危険度評価とを重ね合わせ、裏面の総合災害危険度として評価しました。



【判定方法について】

- ①は南海トラフ地震被害想定（内閣府）と同じ判定手法
- ②～④及び総合判定は国土交通省監修の災害危険度判定マニュアルを基に実施。

### 災害危険度判定の各項目

各危険度の説明及び詳細な結果については、岡崎市都市計画課ホームページ内の「災害危険度判定調査の結果」をご覧ください。

#### □ ①地区の延焼の危険性（延焼クラスターによる危険度）

⇒ 木造住宅が多く、道路が狭い地区では、延焼危険性が高い結果となっています。

延焼クラスターとは、地震に伴う火災が、消防活動が全く行われずに放置された場合の延焼範囲（運命共同体）です。一つの延焼クラスター内に 1,000 棟以上の建物がある地区を、延焼危険性が高い地区と判定しました。

#### □ ②道路通行の困難性（道路閉塞確率による危険度）

⇒ 狭い道路が多い地区では、道路閉塞の危険度が高い結果となっています。

大規模地震時に、建物等の倒壊により発生するガレキ等により、道路が閉塞する確率（道路閉塞確率）を、路線ごとに算定しました。この道路閉塞確率が高い路線の割合を、地区ごとに算出し、道路通行の困難性を 5 段階の危険度で判定しました。

#### □ ③消防活動の困難性（消防活動困難区域率による危険度）

⇒ 市街化区域の縁辺部や市街化区域外では、震災時に有効とされる消防水利が少なく、危険度が高い結果となっています。

大規模地震時に有効と想定される消防水利（防火水槽など）の位置と、その有効消防水利からの消防ホースの届く距離を考慮し、消防活動困難区域率を算定し、それを消防活動の困難性として 5 段階の危険度で判定しました。

#### □ ④一時避難の困難性（一時避難困難区域率による危険度）

⇒ 市街地の広がりに対して、公共施設等までの距離がある地区では、一時避難の困難性が高い判定となっています。※山間部や田園部では、農地等も一時避難に有効な空間として考慮しています。

避難場所や都市公園といった、震災時に避難可能な場所までの距離によって、一時避難の困難性を判定しました。避難場所等からの直線距離が 350m（歩行距離 500m）以上となる市街地の区域の割合を、一時避難困難区域率として算定し 5 段階の危険度で判定しました。

岡崎市では、地震被害から市民の生命と財産を守るために、防災都市づくりを進めており、その一環として災害危険度判定調査の結果を公表しています。

お問い合わせ先

岡崎市役所 都市整備部 都市計画課  
電話 0564-23-6260 FAX 0564-23-6514

# 震災に強いまちづくりに向けて

～ 自ら住むまちの「災害リスク」を知る ～

岡崎市

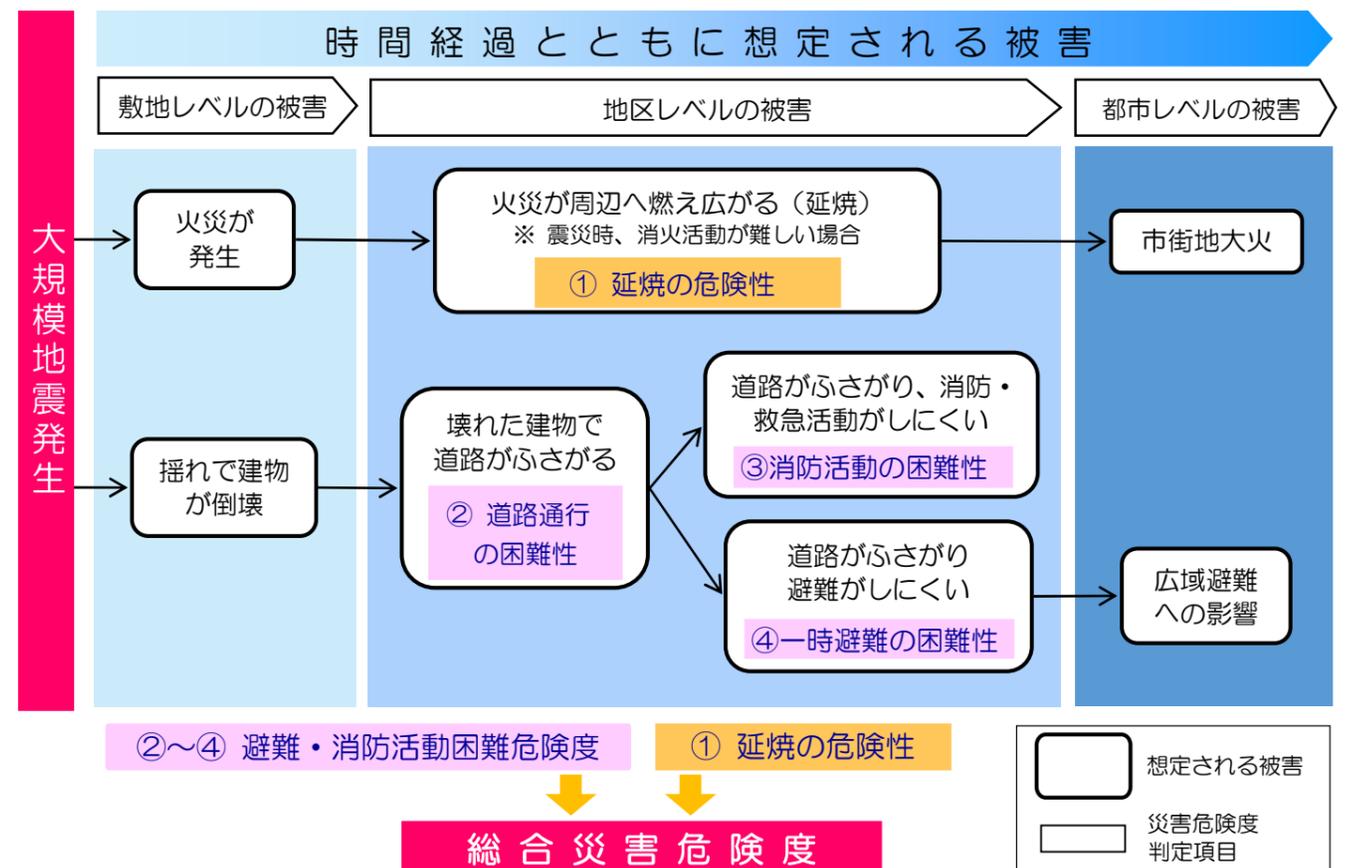
災害危険度  
判定調査  
結果

### はじめに

- ◎南海トラフ地震などの、想定される大規模地震災害に対し、被害の軽減や、被災時の速やかな復興のためには、「まちづくり」として事前の備えが必要です。
- ◎この「防災・減災まちづくり」を考えるためには、まず、まちに潜む災害リスクを知ることが重要です。
- ◎岡崎市では、平成 26 年度に、大規模地震時に想定される建物倒壊や火災延焼などについて、市内各地区の災害危険性の評価を行い、町丁目ごとに整理しました。
- ◎皆さまの住む地域の、地震に対する災害リスクを意識して、事前の備えを進めるとともに、地域ぐるみで、防災・減災のために現在の まち をどのようにしたらよいかを考え始めましょう。

## ■ 災害危険度判定の項目

大規模地震の際に想定される被害は、下図のように時間とともに拡大していきます。そこで、各段階に応じ、市街地・まちの持つ防災性能について 4 項目で評価を実施し、それを総合評価して、行政町ごとの危険度を整理しました。



# 各地域の総合災害危険度 (行政町ごと)

|       |    | 避難・消防活動 |       |
|-------|----|---------|-------|
|       |    | 困難      | 比較的容易 |
| 延焼の危険 | 高い | I       | II    |
|       | 低い | III     | IV    |

## 【判定結果について】

### I：延焼の危険が高く、避難・消防活動が困難な地区

道路が狭く、倒壊の恐れのある木造等の建物が多いため、延焼しやすく、かつ逃げにくい市街地を含んでいる地区と言えます。

### II：延焼の危険性が高い地区

燃えやすい木造等の建物が多いため、延焼の恐れがある市街地を含んでいる地区と言えます。

### III：避難・消防活動が困難な地区

道路が狭く、倒壊の恐れのある木造等の建物が多いため、避難や消防活動が困難な市街地を含んでいる地区と言えます。

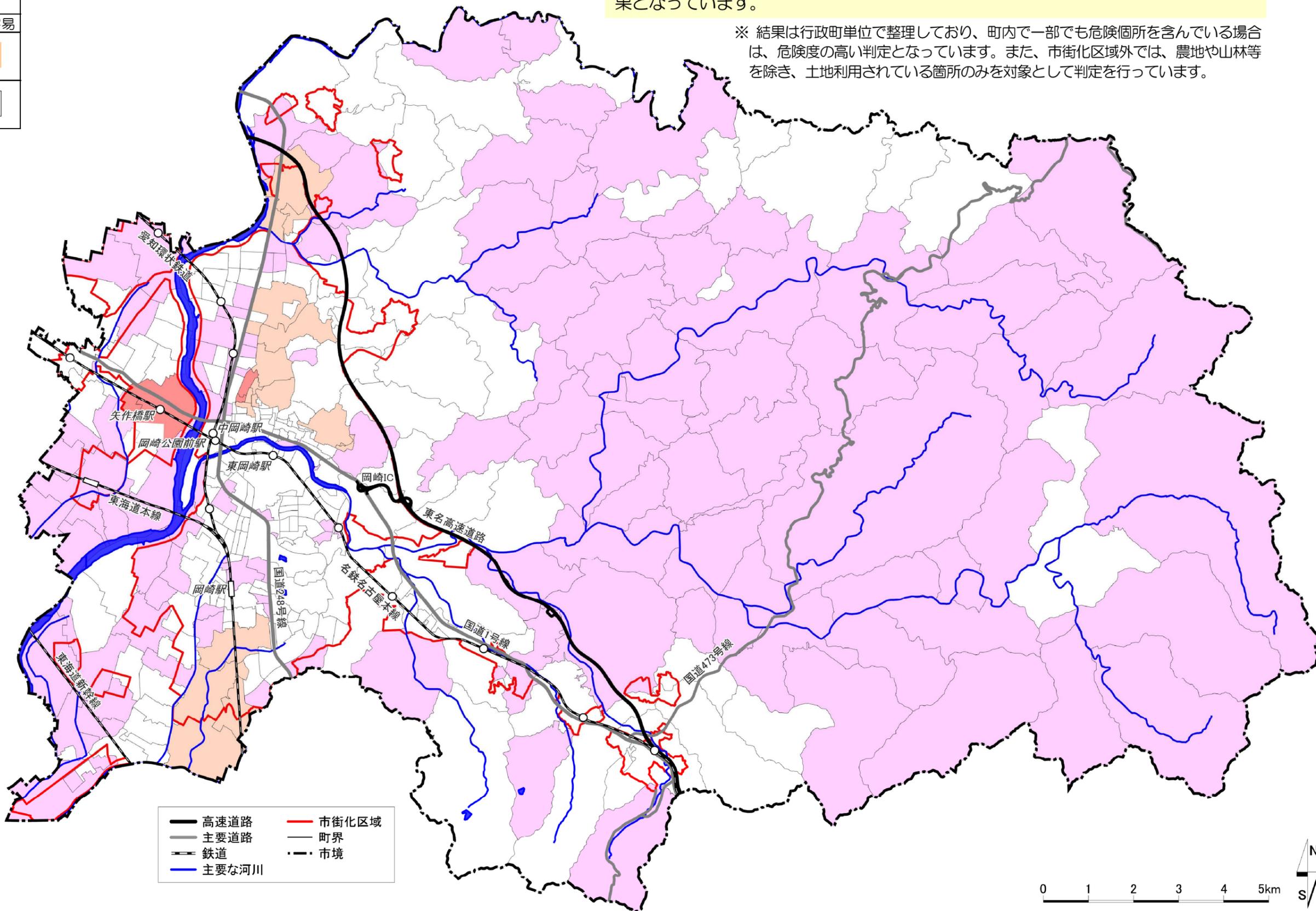
また、山間部や田園部においても、災害時の緊急車両等の通行が困難となる狭い道路が多いことなどから、危険度が高くなっています。

### IV：その他地区

比較的地震による災害リスクが低い地区と言えます。

市街地の構造として、地区内の道路が狭く、空地が少なく、木造住宅が多い地区では、地震時の火災・延焼の危険性と、道路の閉塞の危険性が高くなり総合危険度が高い結果となっています。

※ 結果は行政町単位で整理しており、町内で一部でも危険箇所を含んでいる場合は、危険度の高い判定となっています。また、市街化区域外では、農地や山林等を除き、土地利用されている箇所のみを対象として判定を行っています。



— 高速道路      — 市街化区域  
— 主要道路      — 町界  
— 鉄道            - - - 市境  
— 主要な河川

このパンフレットでは、各地域の災害危険度の概略を紹介しています。延焼危険性や避難困難度などの各項目の詳細な判定結果や内容については、岡崎市都市計画課ホームページ内の「災害危険度判定調査の結果」をご覧ください。

(⇒URL: <http://www.city.okazaki.aichi.jp/1550/1567/1637/p018871.html> )

市は、この災害危険度判定の結果に基づいて、市街地の安全性を高めるための施策に取り組んでまいりますが、地域の皆さまの協力が必要不可欠です。今後、災害リスクの高い地区の防災・減災まちづくりの方策について、地区の住民の皆さまと一緒に検討してまいります。